



2024 年 1 月 26 日

道内暴風雪に伴う札幌圏の運行状況 (函館線 小樽築港～銭函間における高波被害含む) について

【概況】

強い冬型の気圧配置に伴う暴風雪の影響で、札幌圏では多くの列車が運休する輸送障害が発生しています。さらに、1月24日の夜間から、函館線の小樽築港～銭函駅間の海岸沿いの線路に高波が到達しており、関係社員による設備点検を行えないことから、小樽～ほしみ駅間の運転を見合わせております。なお、小樽駅および小樽築港駅構内には車両が8編成留置されていますが、札幌方面へ移動することができないため、各方面の列車に充当する車両が確保できず、一部列車を運休しています。

現在も強風・高波が続いておりますが、関係社員の安全を確保して全体の状況把握を実施しています。しかしながら、詳細な設備点検を実施できる状況にないことから、本日も終日運転を見合わせます。

今後につきましては、高波が収まった後に設備点検及び運転再開に必要な作業を行い、安全確認終了後に運転を再開する計画です。

【運転見合わせ区間】

○ 函館線 小樽～ほしみ駅間（上下線） 1月26日 終日運休

【影響列車等】

○ 1月24日分

（運休本数）

・ 普通列車 67本（部分運休を含む） うちエアポート6本

（影響人員） 約15,000人

○ 1月25日分

（運休本数）

・ 普通列車 290本（部分運休を含む） うちエアポート84本

（影響人員） 約84,000人

※運転再開時期及び1月26日分の影響は別途お知らせします。

函館線 小樽築港駅～銭函駅間における高波被害について

令和6年1月26日
J R 北 海 道

高波の状況



1月25日 8時20分頃の高波の状況



1月26日11時00分頃（現在）の状況



1月25日16時24分頃の高波の状況



1月26日 7時10分頃の高波の状況



1月26日11時15分頃（現在）の状況

高波により線路内の支障状況



高波により石が打ちあがった状況



《国土地理院より引用》

